

第 22 回自治会館建設委員会議事録

日 時 2019 年 11 月 8 日(金)17 時 30 分～19 時 30 分

場 所 つくし野コミュニティセンター第 1 会議室

出席者 1・2 丁目 倉光、橋本 2 丁目 鶴養、加山、友井
3 丁目 鈴木 4 丁目 不参加 ふれあい基金 西野

1 委員会成立要件

参加者が 6 人で委員会成立要件の 10 人を満たしていないが、決議を取るわけではないので議事を進行することとされた。

2 第 21 回委員会以降の経過について

10/16 町田市市民協働推進課訪問(鶴養委員長説明)

- ・事業計画(案)を渡し、自治会等への説明、12/8 住民説明会、アンケートの予定を説明した。
- ・農事センター跡地への防災倉庫の設置は基礎工事等が必要であるが、市は返還の時に原状回復すれば問題ないとのことであった。倉庫の使用貸借契約が遅れても市は土地を他に使うことはない。

10/20 1.2 丁目自治会への説明(鶴養委員長説明)

- ・今度の総会では事業計画(案)を提起すればかなりの議論となるのではないか。
- ・建設予定地は昔、水が出たが浸水の被害などの心配はないか。などの発言があったが、
(委員発言)

定例会では、特に賛成や反対の意見は出なかったが、住民説明会の意見やアンケートがどうなるかわからない。

10/26 2 丁目自治会への説明(鶴養委員長説明)

- ・運営委員会についてもっと説明すべきではないか。
- ・清掃などをボランティアや利用者団体に頼っているのか。
- ・アンケートの質問項目は自治会の事前承認が必要だ。
- ・桜もりの会のアンケートで 80%が賛成したが、沿道の落葉の清掃はその住民がやっている。ボランティアの「桜もりの会」がやるといっていたが清掃に来なかった。ボランティアはあてにならない。
- ・つくし野センターとの関係を答えていない。会館の利用者の見通しをセンターの利用者数や利用率などの客観的数字の分析から始める必要がある。
- ・周辺自治会館の分析は、センターが共存する地域と公共施設のない地域では比較にならない。
- ・4 丁目だけでなく 2 丁目も使いづらい場所にある。
- ・本日の説明を聞いて再度文書にまとめて質問意見を提出する。などの発言があった。

(委員発言)

- ・役員 13 人のうち 9 人から個別の意見が出ているので、会長から建設委員会へ提出する。
- ・ふれあい委員会でも 2 丁目の 2 人の委員は反対意見をよく発言する。2 丁目は反対なのか。
- ・反対しているわけではない。メリットだけでなくデメリットもすべて明らかにして判断したいと思っている。いいことばかり言われてもそれでは信用できないなという気持ちになる。
- ・建設委員会の人たちはこれまで長い間、地域のコミュニティのために活動してきた方々なのだから、そういう活動のために会館があったらいいと思っているのではないか。こういう地域のための活動のために会館が必要なのだという使い方があるのではないか、そういうことを示してほしい。
- ・デメリットがあってもそれを上回るものがあれば建設することも承認されるのではないか。

3 アンケートについて

・鶴養委員長からアンケート案が提示され、「アンケートは簡単なものにすべきだ」という発言があった。

設問は事業計画(案)に「賛成」か「反対」として、「賛成」が総回答数の 3 分の 2 を上回った場合は、ふれあい基金に 4 自治会総会に提案するよう求めることとする。

(委員意見)

- ・ふれあい委員会に提案されても否決されることもあるか。

- ・住民の多くが賛成しているのであるからふれあい委員会は賛成せざるを得ない。